



新年明けましておめでとうございます

会員の皆様にはいつもご支援を賜り心から感謝申し上げます。

本年が、皆様にとってよき希望の年でありますよう祈念いたします。

世界から見捨てられているソマリアの人々のために更にプロジェクトを推進してまいりたいと思います。

昨年12月には、「スタリーンの追悼記念」として、教育支援の為に1000ドルを送金いたしました。

—ソマリアの人達との交流会—

昨年12月14日、東京近郊に在住するソマリアの人たちとの交流会を都内で持ちました。

日本人と結婚しているソマリアの男性や女性及び子供たちを含めソマリアの人達20人と日本人46人が参加しました。日本人参加者の中にはソマリアの人に誘われて参加した人もいました。



難民として日本で暮らしながら遅く生活している彼らの姿を垣間見ました。

来賓にはアフリカ紛争難民担当大使（日本人）や千葉の大学で教鞭をとる教授（ソマリア人）も参加して下さり大変有意義な楽しい一時となりました。

昼食には、ソマリアの人達が徹夜で準備をしてくれたソマリア料理が提供され、参加者は珍しいソマリア料理に舌鼓を打ちました。

また民族衣装を纏ったソマリアの人達からは歌や踊りも披露されました。難民として故郷を離れ異国の地で暮らさなければならない彼らの孤独と寂しさはいかばかりでしょうか。この日は彼らにとって故郷を懐かしみソマリアの文化に浸ることの出来た良き一日であったと思います。

【編集後記】昨年12月2日「ディリー、砂漠に帰る」が出版されました。スーパーモデルとして名をなしたディリーは、BBC放送の支援でエチオピア国境付近に暮らす母を96年?に訪ねていますが、今回は自力による陸路からの訪問でした。遊牧民の生活やソマリアの様子が見事に描写されています。一読をお薦めします。

「ソマリアを支援する会」

〒191-0031 東京都日野市高幡229-8

(TEL&FAX) 042-594-2990

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~somalia/>